



西徳寺だより

9月号
Vol.151

「彼岸について」

広島県三原市 教専寺 福間義朝

彼岸とは悟りの世界、即ちお浄土です。仏教は私達の人生を彼岸に向かわしむ教えです。

彼岸の反対が地獄、餓鬼、畜生界です。さて地獄、餓鬼、畜生は私達人間が、罰が当たって墮ちる世界ではありません。逆に私達が日々よかれと思って向かっている世界です。

自分だけ、できるだけ楽をして食べてゆこうとする姿を畜生と言います。キャットフードやドッグフードを食べてごろごろしているペットを畜生と言います。ですから野良猫、野良犬はその意味では畜生ではありません。彼らは寒さや雪の中でも必死に生きています。いわんや盲導犬は菩薩の働きをしています。菩薩とは他者の為に自分の全てを捧げて、見かえりを一切望まない姿を言います。寿命が十年もない盲導犬もいるそうです。それでも彼らは何も要求いたしません。逆に現代は人間の方が畜生になっているのではないのでしょうか。バブルというのは日本全体が畜生化

令和五(二〇二三)年九月発行 編集発行 篠田 尊徳
〒八二二〇〇三四 福岡県直方市山部五四〇
浄土真宗本願寺派 覺音山 西徳寺
TEL 〇九四九二二〇六三六 HP <https://saiokujit.net>
FAX 〇九四九二二〇六六七 MAIL saiokujit@oce.ocn.ne.jp



した姿だと思えます。こつこつ働くより土地が値上がりする利益に企業も銀行も群がった有様がバブルでした。

餓鬼とは自分の欲求ばかりを追いかける姿です。もつとやせた、体のここがよくなればいい、若くなりたいと私達は日々欲求を持ちます。そして死ぬことにおいても欲求があります。ころっと死にたい。いや一週間くらい煩って別れをちゃんとして往きたいと。しかしお釈迦様の最後はどうだったでしょう。クシナガラという地で最後まで法を説かれ、岩の上で涅槃に入られました。いわば野ざらしの中での最後でした。私達生きることだけでなく死ぬこともつい欲求が出てしまっています。自らを省みることなく、欲ばかりで走り続ける様を餓鬼と言います。

地獄とは自分のことしか考えない様です。仮にいまぽんと十万円もらったらとても嬉しいものです。しかし聞いてみると回りの



人はみんな百万円もらっていた。するととたんに不快に感じます。やはり自分だけという思いがあるからです。時々飛行機事故のニュースで日本人の乗客はおりませんでしたと伝えられることがあります。そこには何かしら良かったという雰囲気があります。しかし他国の人は死んでいるのです。自分にかかわりがなかったら関心が無いという性質が人間の根底にあるようです。

このように私一人が、欲が満たされて楽をしたいというのが、地獄、餓鬼、畜生の世界です。しかしこれは人間が常に願っているものでもありません。日々忙しくこの私の欲を満足するまで走り続けて老いてゆく私達に、そっちへ向かっていっては危ないよと呼んでおつてくださるのが阿弥陀仏です。

私一人が欲が満たされ、楽をする世界には本当の私の幸せはありません。真の私の幸せを知りぬいていらっしやるのが阿弥陀仏です。ですから阿弥陀仏の願いを聞いて人生を歩む時、何も知らないで向かっていた地獄、餓鬼、畜生の世界から、仏の世界へと人生の向きが転じられます。

地獄、餓鬼、畜生の世界から、仏の世界、即ち彼岸に向かうコースに人生が入ることを、仏教では正しく定まる、正定の身になると申します。

『赤光 寺からの便り』へ二〇〇一年四月より転載

秋季彼岸法要のご案内

「うまさうに見れば彼岸の焼茄子」 正岡子規

食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋、そして仏法聴聞の秋到来です。

西徳寺では左記の日程で秋季彼岸法要をお勤めいたします。

未だ残暑の厳しい中ではありますが、本堂に冷房を入れて皆様のお参りをお待ちしております。

どうぞ、お誘いあわせてお参り下さい。

・日時 九月十四日(木) 昼座

十五日(金) 朝座・昼座

十六日(土) 朝座・昼座

※朝座 午前十時より正午まで

昼座 午後一時三十分より三時三十分まで

・講師 田川市 西方寺 田村 浩州師



秋季彼岸のお参りについて



今年のお盆から正式に戸別のお盆参りを中止して、本堂での合同参拝という形で勤めさせて頂きましたが、秋のお彼岸参りは例年通り戸別にお参りさせて頂きます。

ただし、未だ新型コロナウイルス感染の懸念が全く無い訳ではありませんので、例年お参りさせて頂いているお宅で、この度はお休みしたいという方は遠慮なくご連絡下さい。

また、お盆の戸別参りが無かったため、お彼岸は戸別のお参りを希望される方もご連絡下さい。

秋季彼岸前後の納骨堂のお掃除について

秋季彼岸前後の納骨堂掃除・片付けを左記の日程で行います。残暑厳しい中での作業になると思いますので、くれぐれも体調に気を付けてお手伝いの程よろしくお願い致します。

作業時間は一時間程です。

○お彼岸前の清掃

光明殿・清浄殿・智慧殿ともに九月十二日(火)十時より

○お彼岸後の片付け(お供え物は事前に下げておきます。)

光明殿・清浄殿・智慧殿ともに十月三日(火)十時より



「初参式」のご案内(願われていのち尊しほとけの子)

「初参式」とは、赤ちゃんが仏の子として育ち、これからの人生を仏さまのお慈悲に包まれて生きていけるよう、人生の出発にあたり、その誕生を仏さまにご報告する式です。

また初参式は、子にとってはじめての仏縁ですが、同時に親にとっても、親として生きる出発点であり、子によっていただいた尊い仏縁でもあります。

生後三か月ごろから三歳ぐらいまでの「新しいいのち」を恵まれた親御様、この御縁にどうぞご家族で西徳寺に足を運ばれて下さい。

なお、この初参式は毎年行う予定にしておりますので、今回参加出来ない方も来年以降お待ちしております。

○日 時 十一月十七日(金) 午後一時より二十分程度

○行事内容 読経・お祝いの法話・写真撮影など

○会 場 西徳寺本堂

○参加対象 生後三か月ごろ～三歳ぐらい

○申込方法 西徳寺まで電話で連絡下さい(0949-220636)

○申込締切 十一月十日(金)

○参加費 五百円

○服 装 普段着でかまいません

(お子様の念珠と門徒式章はお寺で準備いたします。)



「子ども夏祭り」たくさんのご参加ありがとうございました。

七月十七日(海の日)に開催しました子ども夏祭りには、三十名のお子さんが参加してくれました。コロナのため久しぶりの開催となり参加人数が心配でしたが、たくさんの子どもたちと一緒に「お参り」や「仏さまのおはなし」、そして「てらリンピック」に「スイカ割」、「お菓子のつかみ取り」をして楽しい時間を過ごさせていただきました。お手伝いいただいた婦人会の皆さん、保護者の皆さんも暑い中大変お世話になりました。



納骨堂「智慧殿」照明工事完了のお知らせ

今年の智慧殿総会です承されました智慧殿内外の照明工事が完了いたしました。どうぞ気持ちよくお参り下さい。

絵手紙教室のご案内

「ヘタでいい、ヘタがいい」が合言葉。皆さんのご参加をお待ちしております。

- ・講師 直方市感田 油布 紀美子先生
- ・場所 西徳寺門信徒会館
- ・会費 五〇〇円を参加した時だけ
- ・第二五八回 九月二二日(金)
- ・第二五九回 十月二〇日(金)

午後一時三〇分より
三時三〇分まで



おわりに

六月に体調を崩して以降、『西徳寺だより』紙上で「痩せます」と宣言したこともあり、現在「糖質ダイエット」なるものに取り組んでおります。要はお米や麺類などの炭水化物を摂らないという生活なのですが、お米大好き・麺類大好き人間の私には慣れるまできつい食生活でした。現在は時々サボることも覚えてどうにか節制生活を続けております。長男の結婚式・披露宴では私の痩せた姿も披露出来そうな状況です。偉そうなことを書いておりますが、一番苦労しているのは料理を作ってくれる坊主ですので、その苦労にも報いることが出来るよう頑張っていきます。(完)

